

かけはし

発行日：令和3年11月4日

(発行者)
学校運営協議会会長
但田 勝義
(紙面編集)
学校運営協議会事務局
志田 史子

R3第2回学校運営協議会

交通安全啓発運動（仮称）を提案

10月26日（火）に、令和3年度第2回学校運営協議会を開催しました。

はじめに、今村仁泰副会長から「養護学校の児童・生徒達が、地域との連携を通して、地域・社会の一員としての自覚を感じてもらえるようにしていきたい。そのためにも、忌憚のないご意見をいただきたい」と挨拶をいただきました。

次に、本校教頭田中より、新たな取組として交通安全啓発運動（仮称）を提案し、二つのグループに分かれて実施時期や内容について意見交流を行いました。



交流の中で「声問地区では交通安全祈願祭を行っており、自動車学校や交通安全協会も設置されていることから、交通安全に対する意識が他の地域よりも高いのではないか」「スピードが出やすい道路もあり、交通安全に関する活動は、声問の地域にとって現実的でイメージしやすい取組である」「災害などの非常時に、こういった活動を通じたつながりが大切になってくるのではないか」などの意見が出され、大変活発な話し合いが行われました。主な内容は下記の通りです。

○「交通安全啓発運動（仮称）」についての趣旨説明（教頭田中より）

コロナ禍において、地域とかかわりのある教育活動を実施できない状況が続いている。油断できない状況ではあるが、対策を取りながら地域と一緒にできることはないか、この間、教職員で模索してきた。交通安全啓発運動は、屋外の活動であり地域の方にも協力していただきやすい活動ではないかと考える。次年度の実施に向けて検討していただきたい。

○グループの意見交流より

【実施時期】

- ・春や秋、観光シーズンがよいのではないか。
- ・体調面が心配される児童・生徒もいるため暖かい時期がよい。
- ・一度ではなく、年に数回実施することも考えられる。

【場所】

- ・学校前、国道や道道、旧志和商店前、声問神社付近、ふれあい公園の駐車場など。
- ・学校から近い場所や、歩いて行ける場所。

【参加者】

- ・PTA、運営協議会の構成員やその勤務先の方々。
- ・声問小学校の児童、声問町内会、地域の企業。
- ・身障者協会、交通安全協会などの団体。
- ・大谷高校の生徒（1年生が7月に実施している）など、本校の児童生徒と同年代の人々。
- ・ノーマライゼーション推進委員会の取組との連携。
- ・警察や行政との協力。

【内容や必要な物品】

- ・旗振り、ポケットティッシュ配布（児童生徒のメッセージや校名入り）
- ・横断幕、看板、ポスター作成、テントの設置
- ・横断幕や旗などは、地域の施設に製作を依頼することも可能ではないか。
- ・声問で行われている交通安全祈願祭への参加。
- ・障害者目線からの啓発活動に重点をおく。
- ・マスコットキャラクターを作製して気を付けてほしいマナーなどを代弁させる。



【課題】

- ・コロナ対策。
- ・安全面。ティッシュなどを車に停まってもらい渡すことは危険ではないか。
- ・国道で車を停めてティッシュを配布することが難しければ、国道では横断幕でPRをして、ふれあい公園で停車中の車にティッシュを渡すなど、いくつかに分かれて実施するのもよい。



【ネーミング】

- ・交通安全運動大作戦、交通安全旗波作戦、生徒から募集してもよいのではないか。

【その他】

- ・負担を減らすためにも、既存の取組と合同で行ってはどうか。
- ・最初から全てのアイデアを取り込むのは大変である。少しずつ発展させていくとよい。
- ・マスコミへの宣伝は必須。

＊令和3年度第3回学校運営協議会は、2月下旬から3月上旬の開催を予定しています。